



ROCK PAINT

Technical Data Sheet

TDS NO. MI122117-①

APD

1 / 20

取扱説明書

機器 & 装具 Ver.1-4

03/22/22

For Professional Use Only

ロック エコセルビング J

自動攪拌機能付 中型原色保管棚

商品概要・用途

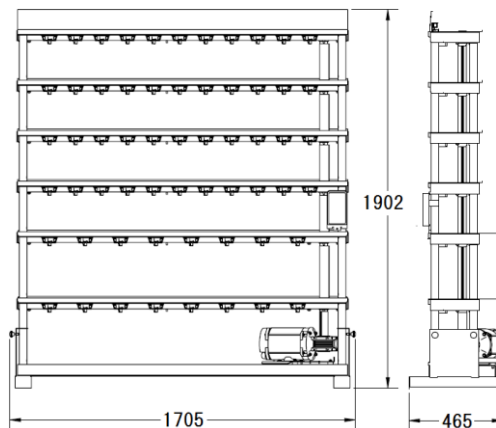
配合データを基に各原色塗料を混合し、精度の高い色再現からの調色作業を行うためには、各原色塗料の使い始めから終わりまでの1滴、1滴の均一性が維持されていることが前提です。アジテータカバーエコSを装着した各原色塗料をエコセルビングの棚にセットするだけで、モーターを駆動力とする同時多色攪拌機能により、塗料の均一性の維持が労力なく可能となります。また、予備在庫及び定位置管理も実現するため、ストレスのないスピーディな調色作業ができます。さらに、コンプライアンス対応の日本防爆認定取得のモーター & タイマーを標準搭載しており、導入後の充実したアフターサービス体制も完備しているため、安心して長期に利用する事ができます。大型の“エコセルビング Z”と中型の“エコセルビング J”、保温機能付、水性塗料用大型の“エコセルビングWB”の3タイプがラインナップにございます。

品目コード(品番)・品名・寸方(mm)・攪拌数量 & スtock量 / 商品外観

099-0093-90 ロック エコセルビング J
 コート缶用棚 4段:48缶(099-S089-90 ロック アジテータカバーエコS コート缶用を使用)
 ガロン缶用棚 2段:15缶(099-S088-90 ロック アジテータカバーエコS ガロン缶用を使用)
 計 63缶(同数量の塗料在庫を収納可能とするバックストックスペースあり)
 プラットホーム 8個 ガロン棚にコート缶をセットする際に使用する台座

駆動モーター 電源:単相 100V / 200V (工場出荷時設定)切替式 消費電力:0.38kw コード長 約6m
 100V 50Hz 8A / 60Hz 7.2A
 200V 50Hz 4A / 60Hz 3.6A

外寸法



099-S088-90	099-S089-90	099-0087-90
ロック アジテータカバーエコS ガロン缶用 6個 / 箱 (攪拌機能付 原色抽出用カバー)	ロック アジテータカバーエコS コート缶用 6個 / 箱 (攪拌機能付 原色抽出用カバー)	ロック アジテータカバー用 クランクハンドル 6個 / 袋 (手動攪拌用 クランクハンドル)

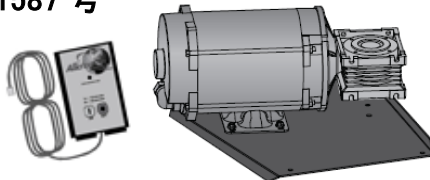
特長

- ・日本防爆認定を取得したモーターとタイマーをコンプライアンス対応駆動ユニットとして標準搭載しています。
- ・3.5年のメーカー保証付。導入後はデドゥズ・ジャパンによるアフターサービス対応により、安心して長期に使用できます。
- ・付属工具のみで短時間、簡単組立設計。モーターマウントの制振作用により比較的静かな作動音を実現。
- ・100V／200V対応の切替モーターのため、設置場所の電源事情に応じて設置が可能です。(200V推奨)
- ・アジテーターカバーエコSを装着した各原色塗料(ガロン缶、コート缶)を同時に攪拌でき、自動停止します。
- ・定位置管理により、欲しい時に欲しい色がストレスなく見つかるので、スピーディな調色作業が実現します。
- ・各棚の後方エリアは、予備塗料をストックするためのバックヤードがあり、在庫管理が容易です。

日本防爆型モーター&タイマーについて

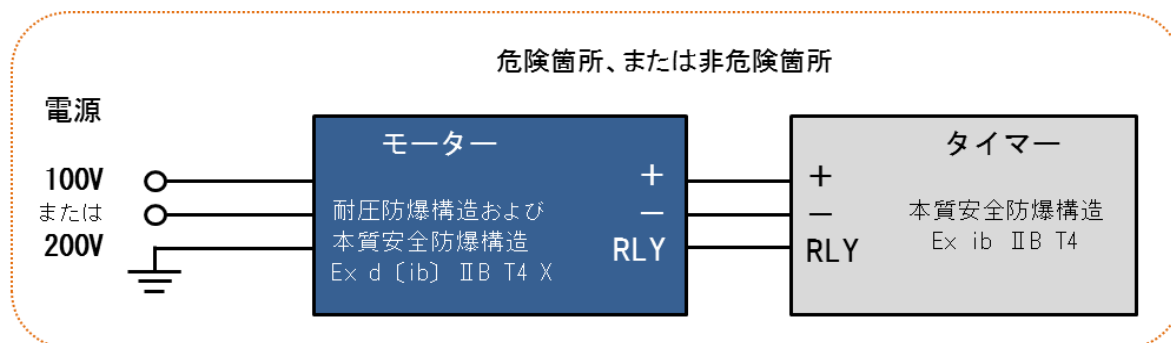
- ・本機器は、公益社団法人 産業安全技術協会の型式検定を受けて日本防爆認定を取得したものです。
- ・申請書面として防爆証明(型式検定合格証)が必要な方は、デドゥズ・ジャパンよりご提供致します。

型式検定合格番号 : 第 TC21587 号



日本防爆型モーター&タイマーの仕様

名 称		タイプ56 防爆型モーター	タイマー
型 式		1121007475	2235501
防爆構造 種類		耐圧防爆構造および本質安全防爆構造	本質安全防爆構造
防爆保護構造 等級		Ex d [ib] IIB T4 X	Ex ib IIB T4
使用条件	設置可能箇所	危険箇所 第一類危険箇所、第二類危険箇所 非危険箇所 一般的な場所	
	保護等級	IP20	
	使用環境	屋内のみ使用可能、周囲温度 = -20℃～+40℃	
	モーター定格	電源 AC200V 50 / 60Hz、AC100V 50 / 60Hz 電流 4.0 / 3.6A、8.0 / 7.2A 出力 375W 極数 4極 定格種類 30分定格 耐熱クラス 130 (B) コンデンサ電圧 165V コンデンサ容量 192 μF 非本体回路 許容電圧 AC230V 50 / 60Hz 本安回路 最大電流 108.2mA 最大電圧 20.558V	
ケーブル長	モーター～タイマー間	約2m (中間にてコネクターで接続)	
	モーター～電源まで	約6m (ケーブル先端は3本のワイヤーが露出している状態)	



■ 耐電圧試験に対する適合

本質安全回路と非本質安全回路間の絶縁と、非本質安全回路と電源基盤のフレーム間の絶縁は、要求事項に適合していることを確認しています。

トランスの本質安全回路と非本質安全回路間の巻線間は、電圧2500Vで耐電圧試験を行い、要求事項に適合していることを確認しています。

■ モーターの電圧切替スイッチについて

このモーターには電圧切替の為のスイッチがモーターの背面にあります。(図1を参照)

工場からの出荷時には電圧は「HIGH」=200V(推奨)にセットされています。

電圧を100Vに切り替えたい場合には、電圧切替スイッチに取り付けられているネジを緩め、スイッチを「LOW」=100Vの位置に切り替えてから、ネジでスイッチを固定してください。

図 1

タイマーケーブル

警告

- ・モーターとタイマーの分解はできません。
- ・モーターとタイマー間の配線は、備え付けのコードのみを使用してください。
- ・何らかの原因でモーターへの負荷が重くなったり、電圧の異常等でモーターが過熱されると自動的に動力が遮断される“過熱保護装置”が内蔵されています。しばらくしてモーターが冷えると自動的に再始動しますが、原因が改善されるまでこの状態が続きますので、重大な事故になる前に、原因の特定と対策を実施してください。

注意

■ 電気接続工事について

- ・法令に適合した資格を持つ電気工事士が、必ず電気接続工事を行ってください。
- ・電気工事士によって正しい配線が行われない場合は、「人命に係わること」「本品の故障/破損」「本品の保証」等、いかなる責任も負いかねます。
- ・防爆エリアでは、防爆指針に定められた工事方法にて電気工事士が実施してください。
- ・電源は本書P2「日本防爆型モーター & タイマーの仕様」にて定格に示される電源を必ず使用してください。それ以外の電源では防爆性能を維持できません。
- ・電源スイッチを用いる場合には、上記電源の定格に適合するものを使用してください。
- ・電気配線は法令並びに防爆電気工事に基づく配線を行い、アースは必ず本質安全防爆構造保持用の接地端子を使用し、防爆機器に必要な良質な接地を行ってください。
- ・電源ケーブルは断線防止のため、ケーブルグラウンドの近傍で固定してください。
- ・本品を接続する配線は、電磁誘導又は静電誘導により、本質安全回路の本質安全性能を損なうような電流および電圧が、当該本安回路に誘起されないように配置してください。
- ・配線工事並びに保守については、「ユーザーのための工場防爆設備ガイドー2012ー」を参考に関係法令に従い実施してください。(2018年2月現在)
「ユーザーのための工場防爆設備ガイドー2012ー」(<https://www.jniosh.go.jp/index.html>)

■ 組立て設置について

- ・組立てになる方は必ず本書をご一読いただき、本品の正しい組立てと注意事項を遵守ください。
- ・本品は安定した場所に、必ず水平を取って設置してください。歪んだ状態で使用するとドライブギヤ、駆動用ベルト等の破損やモーターの故障を誘発します。
- ・耐震のため、必ず壁用ブラケットもしくはアンカーボルト等を使用し固定・設置してください。
- ・電源コードやモーター & タイマーの配線は破損しないよう固定・設置してください。

使用方法(運転方法)①



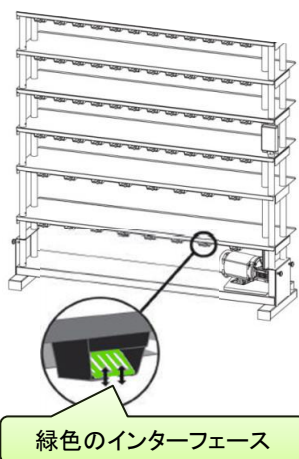
- ・使用になる方は必ず本書をご一読いただき、本品の使用方法和注意事項を遵守ください。
- ・巻き込みによるけが防止のため、動作部分には手や服の端などを近づけないでください。

■ スイッチの操作

日本防爆型
タイマー

1. 各原色塗料の缶種に応じたアジテーターカバーエコSを装着し、エコセルビングの棚にセットします。
2. 攪拌を開始するにはタイマーの“ ON ” ボタンを押します。
オフタイマー時間になると自動的に停止します。
設定時間は以下の2種類です。参照ください。

インジケータランプ	“ ON ” ボタン	オフタイマー時間
点滅が遅い	1回押す	15分後にモーター停止
点滅が早い	素早く2回押す	30分後にモーター停止



3. 攪拌スタート後、攪拌の動作確認を行います。セットされた塗料缶上部にある緑色のインターフェースの動きを、各棚ごとに順を追って確認します。塗料缶が正しく挿入・設置され正常に攪拌している場合には、緑色のインターフェースがパタパタと上下に動きます。動いていない場合には、攪拌されていないので動くように適性にセットしてください。
4. 攪拌を停止する場合はタイマーの“OFF”ボタンを押してください。オフタイマー時間の15分または30分経過する前でも停止します。攪拌は塗料の使用頻度によって異なりますが、1日2回以上を目安に行うことを推奨します。

トラブル発生時の対応について



- ・異常・故障時には直ちに使用を中止してください。そのまま使用を継続すると、火災・感電・けがのおそれがあります。すぐにプラグを抜き、本書P9「修理依頼フロー(動作不良)」からP13までを参照の上、事前にシリアルナンバー等のお客様情報を準備の上、デドゥズ・ジャパンまでお問い合わせください。

部品(消耗部品)の注文について



- ・部品の注文は、本書P7～P8「パーツリストと分解図」を参照の上、以下、デドゥズ・ジャパンにお問い合わせください。

デドゥズ・ジャパン連絡先

● デドゥズ・ジャパン(オフィスシェトア)

〒179-0071 東京都練馬区旭町3-9-12 井上マンション101号室

TEL: 03-6909-9168 FAX: 03-6909-9178 □

E-mail : japanservice@dedoes.com

営業時間 : 9:00 ~17:00 (月～金) 土日祝日、年末年始を除く

- ・デドゥズ製品に関する質問、技術的なお問い合わせ、消耗部品のご注文、初期不良のご連絡等、対応致します。また、国内ネットワークの電気工事士(電気工事業者)の派遣対応も致します。お気軽にご相談ください。

■ 清掃

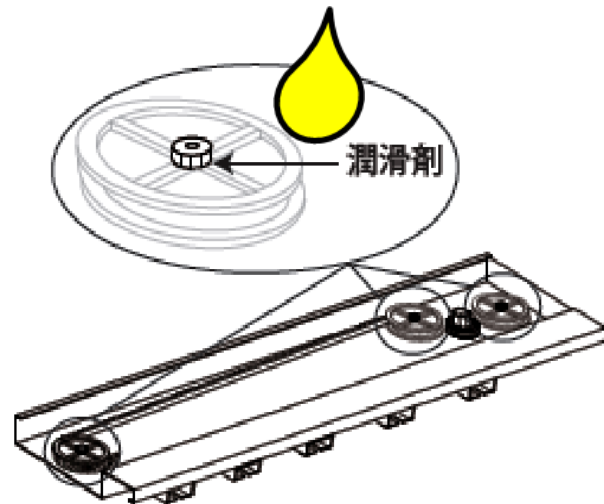
- ・エコセルビングは、埃や汚れがついていないクリーンな状態であることが重要です。掃除機などを利用して定期的に清掃してください。
- 尚、各パネルの塗装面はシンナー等で溶解する可能性があります。ご注意ください。

■ 潤滑剤の塗布

- ・各棚の内部にある3つのプーリーの段付きボルトに、定期的に付属の潤滑剤を塗布してください。潤滑剤の塗布の前には、段付きボルトに埃が付いていないか確認してから塗布してください。潤滑が保たれていないと、異音が発生する原因となります。

注意：

- ・特に汚れがひどい場合は、段付きボルトをプーリーから外し、汚れを取り除いてから、潤滑剤を塗布することをお勧めします。

**■ ベルト調整**

- ・ベルトはスチールで強化されたポリウレタン製です。
 - ・ベルトは基本的に消耗品です。必要に応じて交換をしてください。
 - ・ベルトのテンションは、左サイドのプーリーで調整できます。
- しかしながら、ベルトを調整する必要性は、ほとんどの場合ありません。従って、正しい作動を目的としてベルトをきつく締め上げる必要はありません。※

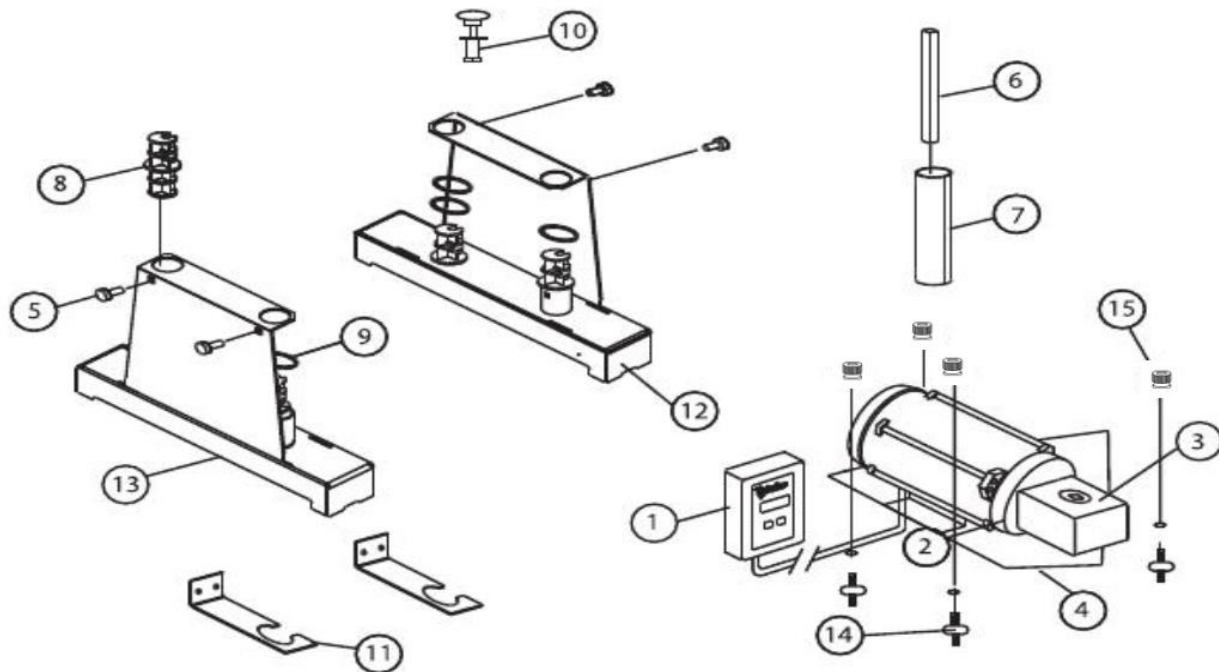
※注意：

ベルトのテンションが強すぎると、異音や作動上の問題を起こすことがあります。ベルトは少し緩んでいるのが正常な状態です。ベルトにもプーリーにも歯があるためです。自動車のエンジンのようなベルトのテンションではありません。ご注意ください。ベルトが切れた場合、デドゥズ・ジャパンに連絡頂き、交換用ベルトを注文下さい。

ロック エコセルビング Z : P1730 ベルト2.4M (本書P8の⑭参照)

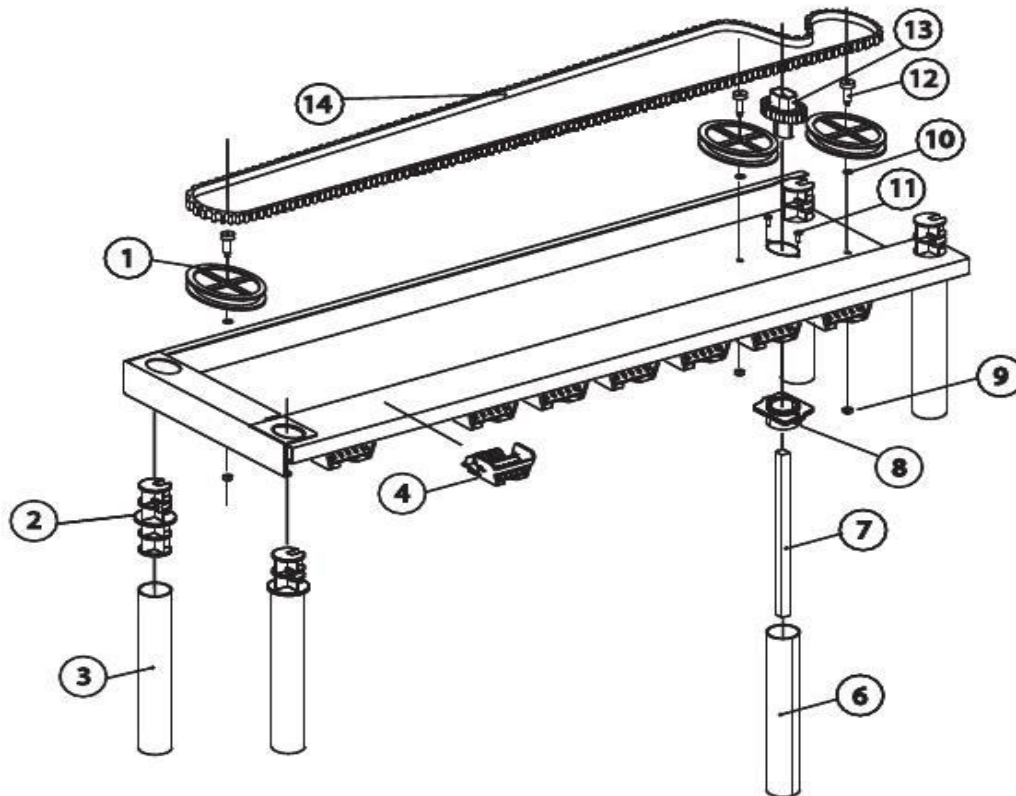
ロック エコセルビング J : P1729 ベルト1.7M (本書P8の⑭参照)

■ モーター関連パーツ



番号	品 番	品 名
①	SA0312	日本防爆型タイマー
②	P2413	日本防爆型モーター
③	5964	ギアリデュサー
④	C00126X	モータープレート
⑤	5097	ちょうネジ
⑥	P0324	モータードライブシャフト ガロン棚用
	P0362	モータードライブシャフト コート棚用
⑦	5285	モーターシャフトガード ガロン棚用
	P0363	モーターシャフトガード コート棚用
⑧	5279	チューブトップ(黒色チューブ差し込み)
⑨	5828	ワッシャー
⑩	5900	エンドボルト
⑪	2095U	転倒防止金具(壁用ブラケット)
⑫	5836R	右脚
⑬	5836L	左脚
⑭	P0322	制振ねじ
⑮	P0365	ちょうナット
-	EP46251R3-SA	日本防爆モーターセット(モーター/ギアリデュサー/タイマー/架台)
-	R41	プラットフォーム

■ 棚関連パーツ



番号	品 番	品 名
①	5930 & 5364	アイドラプーリー / 段つきボルト
②	5279	チューブトップ(黒チューブ差し込み)
③	5993W	チューブ コート缶用
	5994W	チューブ ガロン缶用
④	5752B	インターフェースアッセンブリー(緑色のインターフェース)
⑥	5281	シャフトガード コート棚用
	5282	シャフトガード ガロン棚用
⑦	5995PLT	スクエアシャフト コート棚用
	5996PLT	スクエアシャフト ガロン棚用
⑧	5278E-M	ハウジングブッシング
⑨	P0025	ロックナット
⑩	5804S	ワッシャー
⑪	P1767	ブッシングネジ
⑫	5364	段つきボルト
⑬	5931	ドライブギア
⑭	P1730	ベルト:2.4M
	P1729	ベルト:1.7M
②+③+⑥+⑦	5936W	チューブキット:コート缶用
②+③+⑥+⑦	5937W	チューブキット:ガロン缶用
-	1LM1WD	エコセルビング(S/J)棚 :コート缶用
-	4LM1WD	エコセルビング(S/J)棚 :ガロン缶用

ロック エコセルビング J 取扱説明書

For Professional Use Only

修理依頼フロー(動作不良)

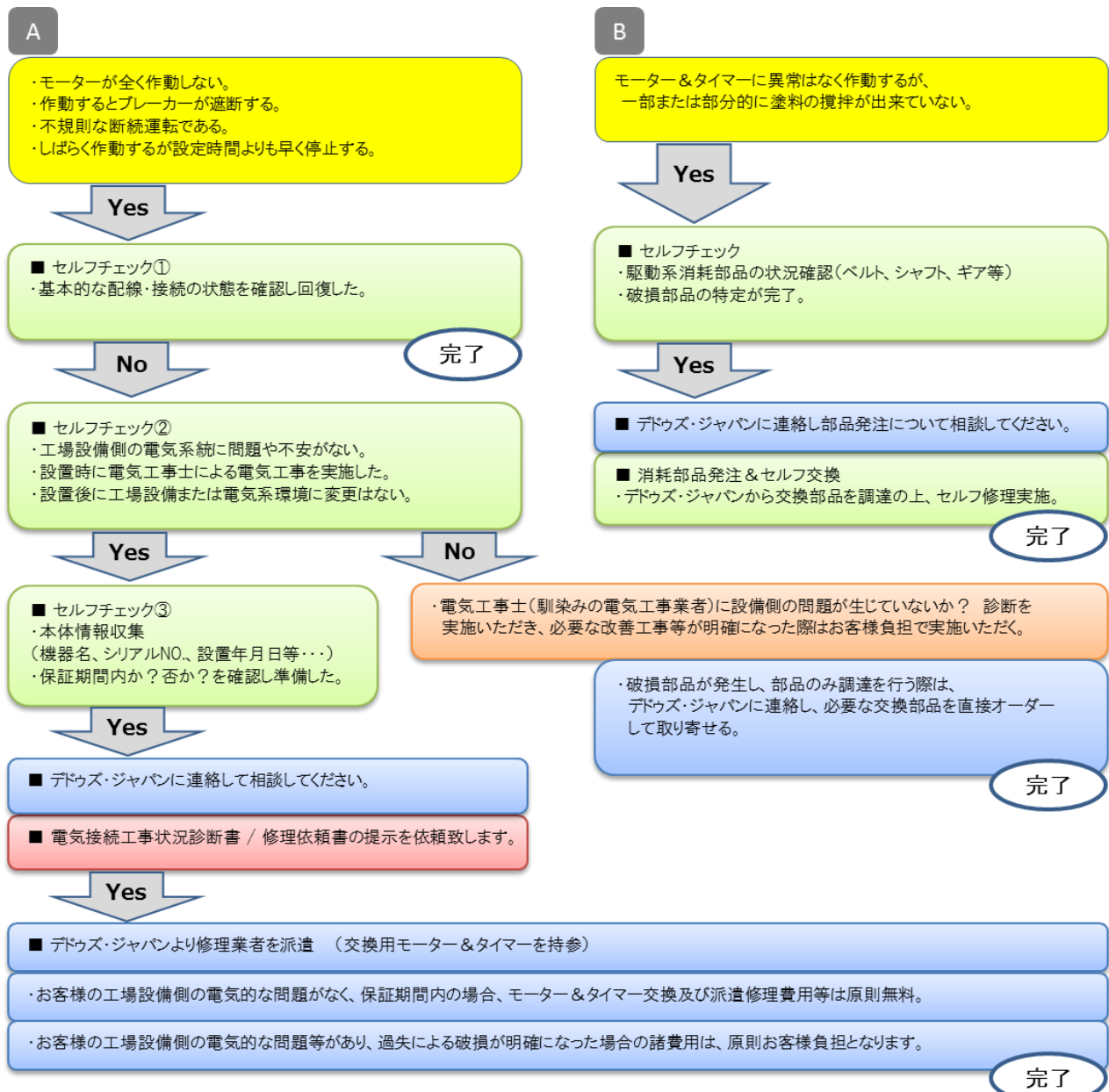
本機器の設置に際し、とりわけ電気工事に関する部分は必ず電気工事資格を有する者(以下:電気工事士)により電気工事を行う事をコンプライアンス上、お客様負担での実施を義務化致します。

電気工事士による電気工事を実施しなかった事により、当初作動していたモーターが作動不良を起こすと言った所謂、「お客様の工場設備側の問題」を起因とした故障の過去事例がございます。

電気工事士により「お客様の工場設備側の問題」が全く存在しないことが明らかに診断された前提で尚且つ、保証期間内の作動トラブルであった場合には、修復に関わる費用を全額弊社負担にて実施します。

仮に「お客様の工場設備側の問題」を放置したまま修復を実施しても、再発を繰り返してしまう事は双方にとって不利益を生じる事であり、これを回避すべき主旨である事にご理解を賜りたく存じます。

以下、フロー図を参考に、必要書面を用いた迅速且つ円滑なアフターサービスを実施致したく、何卒、ご協力の程宜しくお願い致します。



消耗部品 例 ロック エコセルビング Z : P1730 ベルト2.4M (本書P8の⑭参照)

ロック エコセルビング J : P1729 ベルト1.7M (本書P8の⑭参照)

商品保証



■ 保証範囲

- ・ロック エコセルビング Jに、材質の欠陥、設計または製造に起因する動作不良があった場合、お客様(エンドユーザー)に対して保証致します。

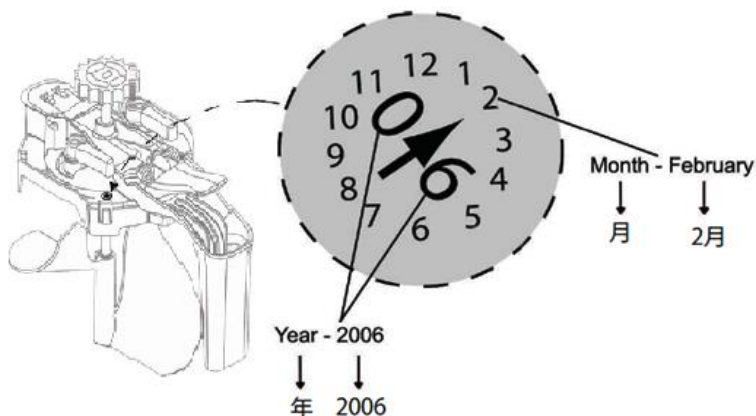
■ モーターの保証期間

- ・モーターの保証期間はプロダクションシールに記載されている製造日から3.5年間有効です。
- ・保証は、部品交換及び取替工賃を含みます。シリアルナンバーシールに記載されているシリアルナンバーなどの情報が提供されない場合は、修理代をご負担頂く場合があります。
- ・製造日およびシリアルナンバーを確認する方法に関しては、以下を参照ください。



■ ロック アジテーターカバーエコS保証期間

- ・ロック アジテーターカバーエコSの保証は、カバーに記載されている製造日から3.5年間有効です。アジテーターカバーの製造日は、ボディーの上に刻印されています。下記をご参照ください。



■ 保証範囲外

- ・本保証はお客様の故意による損傷(商品の破損、改造、誤った使い方、乱暴な取扱いによるもの)により生じた場合は適用されません。不注意な取扱い、化学品によって生じた腐食、災害又は、天災や公害による故障も、この保証の対象外となります。
- ・修理の際にはデドゥズ・ジャパンの提供する純正品のみ使用してください。他の部品を使用した場合は、保証は無効となります。
- ・動作不良などにより生じる付随的な損害(時間的損失など)の責任は負いかねます。



- ・貴社のエコセルビングの製造日およびシリアルナンバーを確認し、以下に記載してください。
- ・この保証書は保証記録として大切に保管してください。
- ・デドゥズ・ジャパンにシリアルナンバーの情報が提供されない場合、保証期間内の保証対象修理の場合でも費用を負担いただく場合がございます。ご了承ください。

保証書

Warranty Certificate Form

設備情報	商品の種類	ロック エコセルビング J		
	保証期間	モーターのプロダクションシールに記載されている製造日から 3.5年間		
	モーター シリアルナンバー	S R #		
	製造日 月 / 日 / 年		設置日	
	/ /		年 月 日	
お客様情報	会社名			
	住所			
	電話番号			
販売店名				

電気接続工事状況診断書／修理依頼書

- 電気工事業業者(電気工事士)記入欄 ⇒ 電気工事業業者(電気工事士)様にて記入のこと。
- お客様記入欄 ⇒ エコセルビングを所有または使用するお客様(ユーザー)にて記入のこと。
- 派遣修理業者記入欄 ⇒ デドゥズ・ジャパンが手配する派遣修理業者にて記入のこと。

ご記入年月日

年

月

日

会社名

TEL ()

—

FAX ()

—

ご担当者名

印

所属部署

ご住所

〒

—

Q1. 設備側の元電圧を電圧計で測定の上、総合的な評価をしてください。

①

V

☐ 異常なし☐ 異常あり

Q2. モーター背面部にある電圧切替スイッチの設定は、どちらに設定されていますか？

☐ 100 V☐ 200 V

Q3. モーターの電源コード / プラグを接続するコンセントの電圧を電圧計で測定の上、評価してください。

V

☐ 異常なし☐ 異常あり

Q4. モーター電源コード接続部の状態について該当するものにチェックを入れてください。

☐ 硬質電線管☐ 防爆用可撓電線管☐ プラグ
延長コード無し☐ プラグ
延長コード使用☐ 該当なし

Q5. モーターとタイマー間のケーブル接続状況に問題はありますか？

☐ 異常なし☐ 異常あり

Q6. その他お気づきの点がありましたら詳細なコメントを記入ください。

Q7. 最終評価判定

☐ 工場設備側に、異常がないことを確認致しました。☐ 工場設備側に、異常が認められました。

詳細コメント記入欄

電気工事業業者／電気工事士
記入欄

② お客様 記入欄	ご記入年月日		
	年		月
	日		
	会社名		TEL () —
			FAX () —
	ご担当者名		所属部署
	印		
ご住所 〒 —			
商品名		製造年月日	
ロック エコセルビング J			
モーターシリアルナンバー		設置年月日	
Q1. デドゥズ・ジャパンが手配する派遣修理業者に修理を依頼するか、部品のみ依頼しますか？			
☐ 派遣修理を依頼する ☐ 交換部品のみ依頼する			
お客様の工場設備側の問題がなく保証期間内の場合、モーター&タイマー交換及び派遣修理費用等は原則無料です。しかしながら派遣修理業者により工場設備側の問題が明確になった場合は、原則、当該諸費用はお客様負担となります。あらかじめご了承の確認として「同意する」欄にチェックをお願いします。			
☐ 同意します			

※ 本書を受理した後に、デドゥズ・ジャパンよりお客様に連絡をさせていただき、詳細をお伺いさせていただきます。

③ 派遣修理業者 記入欄	ご記入年月日		
	年		月
	日		
	会社名		TEL () —
			FAX () —
ご担当者名		所属部署	
印			
ご住所 〒 —			
修理レポート			

お客様 記入	上記の通り修理が完了し、機器が正常に作動することを確認しました。		
	ご確認日		
	年	月	日
ご署名・捺印		印	

はじめに

本品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、本品を正しくご使用いただくための必要事項が記載されております。

組立て、使用、メンテナンスを担当される方は必ずご一読の上、安全に留意してください。

また、本取扱説明書は導入時のみならず、メンテナンスやトラブル時の対応の際に必要になります。

お手元にて保管をお願い致します。

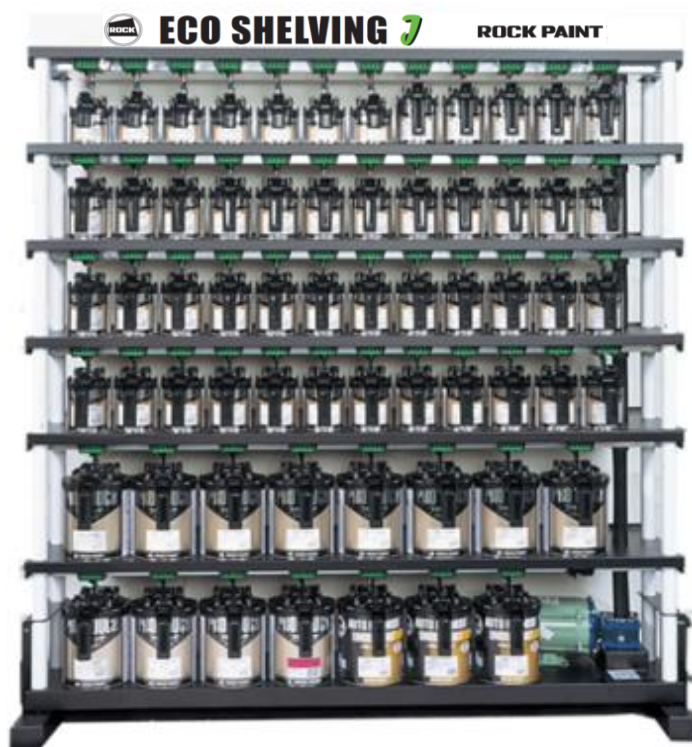
組立手順 / 目次

P13 - ベース棚 & 日本防爆型モーター

P15 - ガロン棚

P16 - コート棚

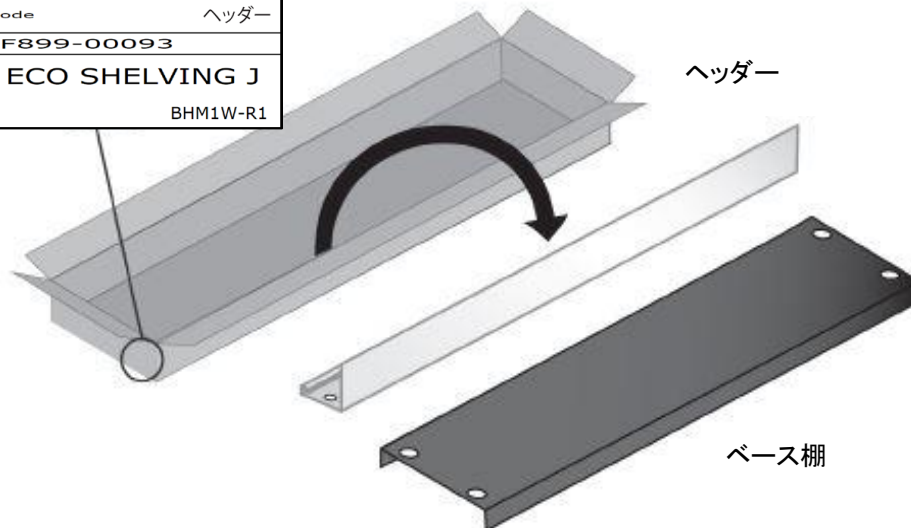
P17 - エンドボルト & ヘッダー、タイマー、転倒防止金具、ちょうネジ



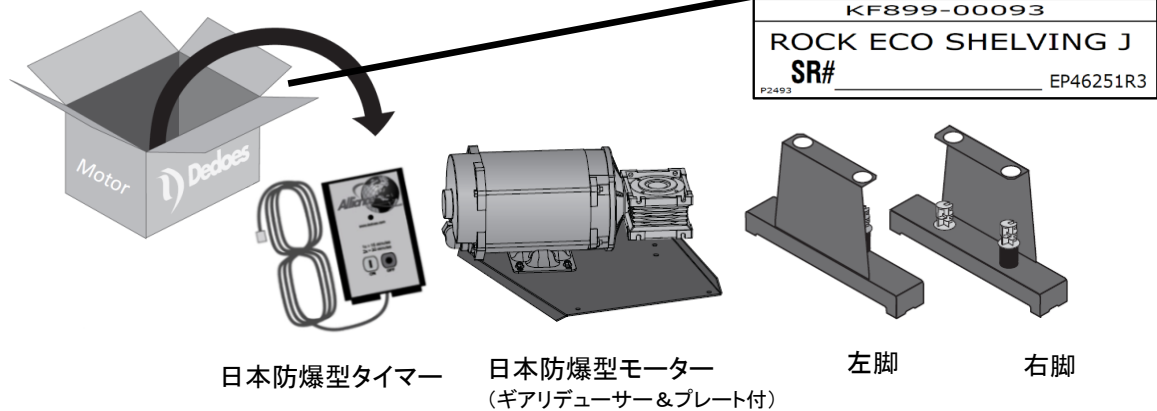
ロック エコセルビング J 取扱説明書

ベース棚 & 日本防爆型モーターの組立て①

■ ベース棚 & ヘッダーボックス 梱包内容



■ 日本防爆型モーターボックス 梱包内容



モータードライブシャフト
コート缶用

モーターシャフトガード
コート缶用

モータードライブシャフト
ガロン缶用

モーターシャフトガード
ガロン缶用



エンドボルト



ちょうネジ



ケーブル結束バンド



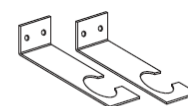
ちょうナット



制振ネジ



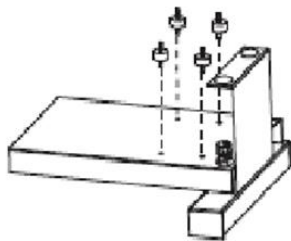
レベル ゲージ



転倒防止金具
(壁用ブラケット)

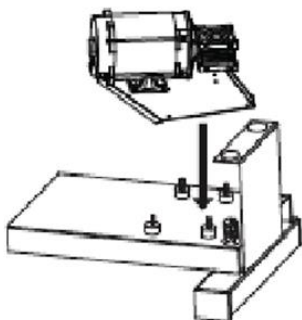


1. 左右の脚を、1.7m間隔で設置してください。
 - ・チューブトップ(黒色の差し込み)の長い方を前面に、短い方を後面に設置ください。
 - ・長い方に1つ、短い方に2つワッシャーが付いています。必ず確認してください。
 - ・紛失防止用の押さえゴムは必要ありませんので取り外してください。
2. 制振ねじ取付用の穴が、正面から向かって右側になるようにベース棚を設置してください。
 - ・ベース棚は、水平器を使用して水平な場所に必ず設置してください。
 - ・水平が保たれていない事により、異音の発生、駆動系の故障、塗料缶の破損等トラブルの原因となる場合があります。



3. 制振ねじ取付用の穴に、制振ねじを取り付けてください。

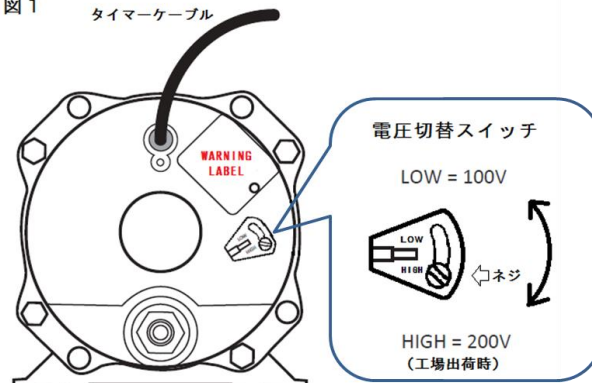
4. 制振ねじの上にモーター(プレート付)を設置します。



5. 電圧切替の為にスイッチがモーターの背面にあります。(図1を参照)

工場からの出荷時は「HIGH」=200V(推奨)にセットされています。電圧を100Vに切替えたい場合、スイッチに取り付けられているネジを緩め、スイッチを「LOW」=100Vの位置に切替えてから、再度ネジでスイッチを固定してください。

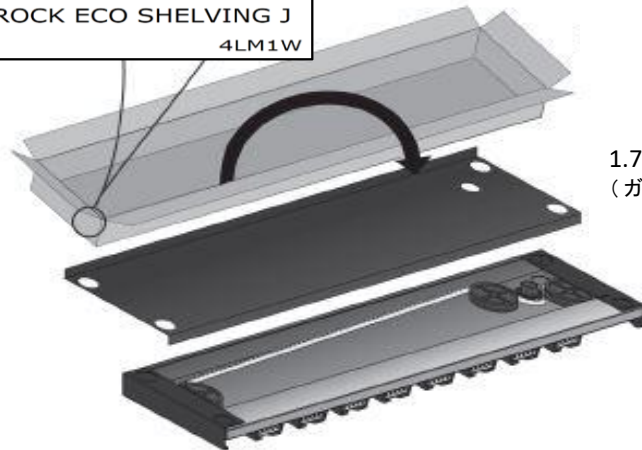
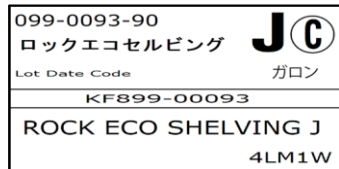
図1 タイマーケーブル



6. ちょうナット(4個)で、モーターを固定します。

ガロン棚の組立て①

■ ガロン棚ボックス 梱包内容



チューブ (ガロン缶用)

シャフトガード
(ガロン缶用)1.7m棚 黒カバー奥行長
(ガロン缶用バックストックススペース付)

1.7m ガロン攪拌棚

ドライブシャフト※
(スクエアシャフト ガロン缶用)

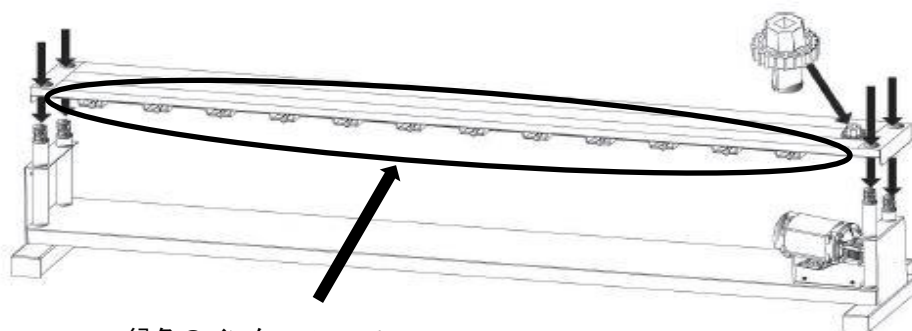
※注意：こちらのドライブシャフトは使用せず、モーターボックスに含まれている
モータードライブシャフトガロン缶用を使用してください。

1. 4本のチューブをチューブトップに差込み、しっかりと締まるまで、時計方向に回して
挿入してください。正しく取り付ければ、前方のチューブは後方のチューブより高くなります。



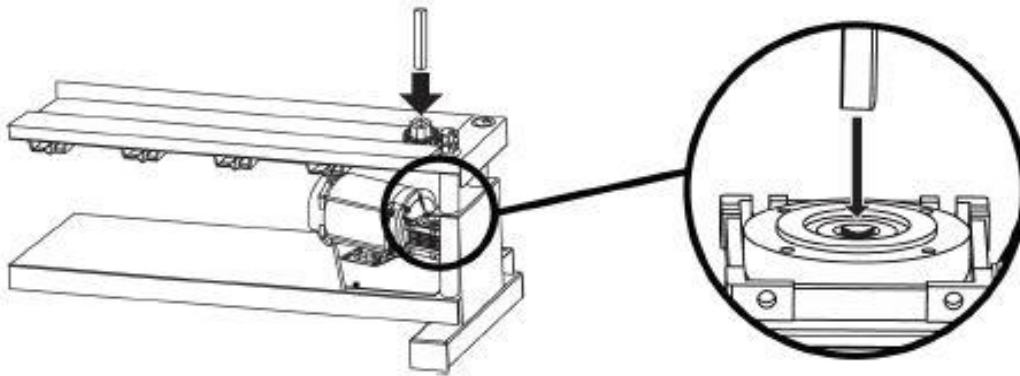
前方チューブが高くなります

2. 緑色のインターフェース部を正面に、ドライブギアが正面から向って右側に位置する
ように注意してガロン攪拌棚を設置してください。



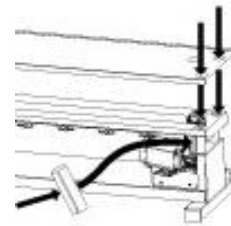
緑色のインターフェース

ガロン棚の組立て②



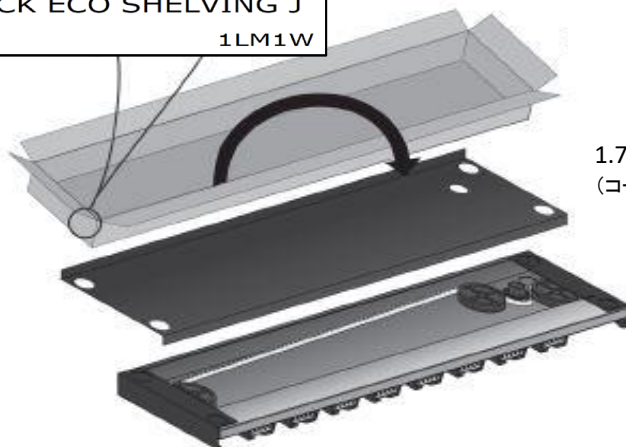
3. ドライブシャフトをドライブギアの穴に通し、モーターに付属するギアリデューサーの穴まで差し込んでください。穴はシャフトと同様に四角い形状ですので、力づくで差し込むのではなく、指で形状の位置を確認しつつ、スムーズに入るように調整しながら確実に差し込んでください。
4. シャフトガードは切り目部より外側に広げながら、ドライブシャフトに被せます。
5. 1.7m棚 黒カバーを設置します。
ドライブシャフト用の通し穴の位置に注意してください。
6. 1～5 のステップをもう一度繰り返し、
ガロン棚を2段積みします。

シャフトガード



コート棚の組立て①

■ コート棚ボックス の梱包内容



チューブ (コート缶用)

シャフトガード
(コート棚用)1.7m棚 黒カバー奥行短
(コート缶用バックストックスペース付)1.7m 棚銀
(攪拌機能部品有り)ドライブシャフト
(スクエアシャフト コート缶用)

ロック エコセルビング J 取扱説明書
コート棚の組立て②

1. コート棚の組立ては、ガロン棚の組立てと同様に、チューブ、各棚板、ドライブシャフト、シャフトガードの順で組立てを行い、4段分の積み上げを実施してください。

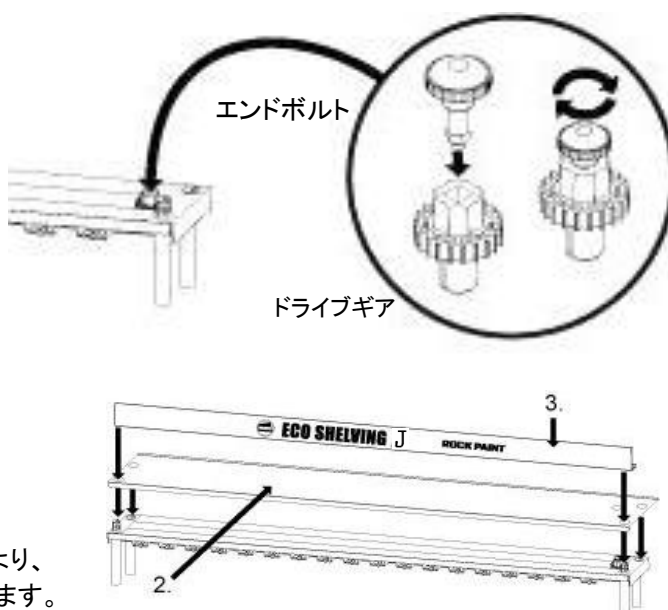


・左記プラットフォーム(台座)
ボックス内の台座×8個を
ガロン棚に設置すると、コート
缶が8缶攪拌可能となります。



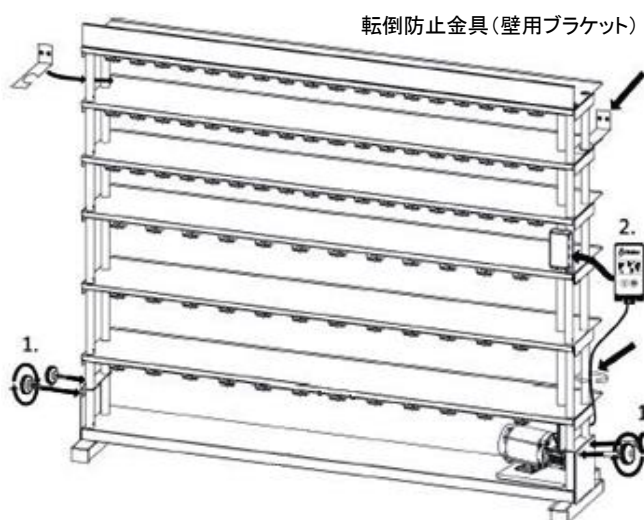
エンドボルト & ヘッダーの組立て

1. 最上段の棚にあるドライブギア部のドライブシャフト穴にエンドボルトを差し込みます。エンドボルトによって連結したドライブシャフトがガタつき、抜ける事を防止します。エキスパンション構造になっていますので、締め上げる事でボルト中間のゴム部が拡張して固定化されます。各棚のドライブシャフトが正しく連結されている状態である事が前提です。
2. コート缶用の黒棚カバーを被せます。
3. 続けてヘッダーを設置します。
ヘッダーは固定せず、チューブトップにより、安定的に上段に置かれている状態になります。



タイマー、転倒防止金具、ちょうネジの組立て

1. 4本のちょうネジを左右の脚につけ、付属の転倒防止金具を必ず壁等に固定してください。尚、設置場所の状況に応じ、壁の補強や金具の追加、アンカーボルトによる固定補強を実施してください。尚、転倒防止金具の装着により、本品の全体的な構造補強を担っている側面もありますので必ず設置をしてください。
2. ご希望の高さにタイマーを取付け、コードを付属のケーブル結束バンドで固定してください。



以上で組立て完了です。電気接続工事を行い、本書P4使用方法に従って、作動確認をしてください。

Q. なぜ攪拌している間、緑色のインターフェース部分が上下に作動するのですか？

- A. 緑色のインターフェースの動きは、各缶が正しく挿入されていることを表しています。
もしインターフェースがパタパタと動いていない状態ですと、それは缶が正しくエコセルピングに
設置されていない状態にあるため、塗料が攪拌されていません。正しく設置してください。(本書P5参照)

Q. 組立て後、エンドボルトを最上段の棚のドライブギアに装着するのはなぜですか？

- A. エンドボルトは正しく装着されると、ドライブシャフトをしっかりと定位置に固定します。
このボルトを装着し忘れると、駆動システムにトラブルが起こります。
詳しい内容については、本書P19を参照ください。

Q. エコセルピングを転倒防止金具(壁用ブラケット)で、壁に取り付けることは重要ですか？

- A. 安全上の理由により、設置されたエコセルピングは転倒を防止するために必ず壁に固定されなければ
なりません。同梱されてる転倒防止金具(壁用ブラケット)を使用してください。(本書P19参照)

Q. モーターをエコセルピングの左側に設置は可能でしょうか？

いいえ、モーターはエコセルピングの正面に向かって右側にしか配置できません。(本書P16参照)

Q. 攪拌機のベルトが緩いのですが調整方法は？

- A. 各棚の左側のプーリーにより調整可能です。ボルトを緩め、プーリーを左側にずらし、ベルトにテンションを
かけてからボルトを締めてください。

注意: 通常、ベルトの調整は必要ありません。
ベルトにテンションがないと正しい作動が出来ないということはありません。
ベルトに若干遊びがある状態が、正しい状態です。(本書P6 参照)

Q. 何段くらいまで棚を積み重ねて良いですか？

- A. 安全上の理由により、棚は7段まで積み重ねて組付けできるようになっています。
追加の棚をお求めの際は、デドゥズジャパンより単品で購入が可能です。(本書P5、P8参照)

Q. なぜエコセルピングの組立て後に、ドライブシャフトが2本余るのでしょうか？

- A. モーターボックスには、あらかじめガロン缶用モーターシャフトとコート缶用モーターシャフトの2本が
含まれています。ガロン棚またはコート棚のボックス内にも各々シャフトが同梱されているため
モーターシャフトで使用しなかったどちらか片方の1本と、棚用で使用しなかったシャフトの計2本が必ず
余ります。組付け不足パーツではありませんのでご安心ください。

Q. 最初に装着したシャフトが1段目のドライブギアの上に突き出してしまいます。なぜですか？

- A. もし、ドライブギアからシャフトが突き出しているとしたら、それは誤ったサイズのシャフトを使用して
いる状態と考えられます。正しいサイズのシャフトはモーターボックスの中に同梱されております。
突き出しているシャフトを取り除き、モーターボックスの中にあるどちらか片方のシャフトに交換してください。
従って、ドライブギアの上にシャフトが突き出ている状態は正常な状態ではありません。(本書P17参照)